

こども こころ からだ

261

「減らす・分ける・収める」

守田整理収納建築研究所

所長 守田順子さん



「お子さんだけでなく大人にも喜んでもらえる画風の絵本です」と守田順子さん。

「親子で家を片づけて、心地いい暮らしを」

親子一緒にページをめくりながら、心地いい家にする方法を身につける…。そんな絵本が誕生しました。整理収納が専門の守田整理収納建築研究所と梅花女子大学（茨木市）のコラボによる絵本「ダスティーさんのすてきな暮らし」。片づけに無頓着なダスティーおじいさんが、一緒に暮らしたいと言ううさぎのために、部屋の片づけをしていくお話です。キーワードは「減らす・分ける・収める」の3ステップです。

守田さんは建築設計を行う建築士であり、インテリアコーディネーター。結婚、出産後には新たに整理収納アドバイザーの資格も取得しました。

「娘ができて整理収納アドバイザーという資格に出会い、それがきっかけで『子どもにお片づけをどのように伝えればいいのか』という題材が、自分の中で芽生えてきました」

現在、娘さんは小学4年生。もともと絵本が大好きな守田さんにとって、仕事も家事も両立しながらの子育て中、小さな娘をひざにのせて絵本を読み聞かせる10分ほどが、何よりもかけがえのないほっこりする時間だったそうです。

「ちょうどそのころ、この絵本の構想ができていました。仕事でいろんな住宅を見てみると、物があふれてるお宅が多くて、『このリビングを片づけられ、すこく広く使えるのに』という思いがあったんです。



親が片づけが苦手な家庭では、子どもの部屋も散らかりがちです。そのためには親御さんに発信をしなければと、親子向けのお片づけの絵本を考えました」

当時、子どもの片づけについての本は、教育論的

なものばかり。守田さんは、「顔を洗う・歯磨きをする」と同じように「片づけ」を生活習慣の一部として気軽にとらえてほしいと思ったそうです。実際に動き出したのは2年ほど前。

「絵本はプロの作家さんより、純粋に絵本づくりをしている方にお願ひしたかったんです。調べてみたら、梅花女子大学さんに絵本を専門に学ぶ学科があることがわかってイベントに直接伺って、産学連携での絵本の作品化を提案したところ、快く受けていただきました」

学生たちは、守田さんが開く整理収納講座で片づけについて学ぶとともに、親子での片づけの実態を母親サークルからヒアリング。6人の学生に自分なりの絵本を制作してもらい、コンペ形式で最終的に今春、同大学大学院を修了した絵本作家「きどまやさん」の作品に決定。4月に守田さんの研究所から自費出版されました。

楽しみながら片づけよう

「絵本では、片づけのノウハウはもちろんのこと、いちばん伝えたいのが、片づけることによつて、『おうちって心地いいよね、自分の居場所だよね、という場になる』というメッセージです。今の世の中は子どもにとつても生きやすい環境とはいえません。だからこそよけいに『自分の心地いい居場所をつつてほしい』という思いを込めたかったんです」

作品はのんびり一人暮らしをするダスティーさんと、しつかり者のうさぎが主役。一緒に暮らすために、物があふれるおうちを、ご近所さんの協力を得て片づけ、心地いい生活を取り戻す物語です。

「片づけの基本である、『物を減らし』『種類ごとに分け』『最後に収める』という3ステップの手順を、お子さんと親御さんにわかりやすく盛り込んでいます。そこに、きどまやさんの細かい画風と独特のユーモア

を交えて制作させてもらいました。楽しみながら片づけるというメッセージも込められています」

絵の中には各所にいろんな仕掛けがあって、見つける楽しみも。絵本の購入は守田整理収納建築研究所のHPからメールで申し込むスタイル。意外にもシニア層の購入率が高く、孫にプレゼントするケースが多いようです。

「本当に必要なとされる方、手元に長く置いて大事にしてくださる方に届けたいという気持ちが強くて、今の販売方法にしています。本が届くと、多くの方から『孫と一緒に読んでみます』『勉強になりました』『すごく絵が楽しかった』などのメールをいただいて。実際の声が聞けるのもうれいんです」

作者のきどまやさんからは、「片づけは私自身も苦手なのですが、気負わないでやってほしい」というメッセージも。

絵本の最後のページでは、たぐさんのうさぎとにぎやかに暮らし始めたダスティーさんがつづきます。「おかたづけもいもんだ！こりやまたすてきな暮らしだなあ」と。

「減らす・分ける・収める」の3ステップで、あなたも心地いい暮らしへ。

次号では片づけのノウハウ、意義など、引き続き守田さんにお聞きします。（次号に続く）

■守田順子（もりたじゅんこ）さん
これまで住宅店舗公共施設など通算1000件以上を設計、コーディネート。2011年守田整理収納建築研究所を設立。暮らしやすさを大切に「間取り・動線・インテリア」の視点から行う整理収納を得意としている。建築士とインテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー。